



Mercedes-Benz

企業情報

Press Information

2022年9月16日

## 文化・芸術支援活動 「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2022-2024」 新プログラムにて再始動

- ・ 芸術文化交流と次世代アーティストの育成を目的に、多摩美術大学と提携
- ・ 30年を超える活動にて生み出された作品を多様な場にて展示するほか、歴代のプログラム参加アーティストとのプロジェクトや他分野とのコラボレーションを実施

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下MBJ、社長:上野 金太郎、本社:東京都品川区)は、1991年より30年以上継続する文化・芸術支援活動「メルセデス・ベンツ アート・スコープ」の2022-2024年における新プログラムを発表しました。

「メルセデス・ベンツ アート・スコープ」は、現代美術の有望な若手アーティストの育成と国際交流を促進し、芸術・文化のさらなる発展に寄与することを目的としたCSR活動です。日独間でアーティストを相互に派遣・招聘し、異文化での生活体験、創作活動を通じて交流を図り新たな作品を制作する滞在プログラム「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」\*1を主軸としています。

2022年-2024年にて実施する新プログラムでは、既存の滞在プログラムに加え、多様化するアーティストの表現手法や発表方法に呼応し、次世代アーティストの育成によりいっそう寄与すべく、新たな活動を取り入れます。

まず、多様な学科を擁し、グローバルに活躍する人材を輩出し続けている多摩美術大学と提携します。プログラムに参加するアーティストが培った経験を、多摩美術大学でのワークショップにて学生に伝え、アーティストと学生の相互交流により生み出された作品等をウェブ等で発信してまいります。

また、過去に本プログラムに参加し、現在第一線で活躍するアーティストとのプロジェクトや他分野とのコラボレーションを行います。第一弾として、2018年にプログラムに参加した久門 剛史氏が、六本木アートナイト2022\*2の開催に合わせた9月17日(土)~25日(月)の期間で、モビリティとリビングの新しいつながりを提案する体験施設「EQ House」\*3に一週間滞在した経験をもとに制作した新作を展示します。

MBJはこの新たなプログラムを通じ今後もアーティストを継続的に支援し、メセナ活動の先駆者としての役割を果たして参ります。

\*1 NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]の協力のもと実施

\*2 六本木アートナイト2022 <https://www.roppongiartnight.com/2022/>

\*3 EQ House <https://www.mercedesme.jp/eqhouse/>

### 【メルセデス・ベンツ アート・スコープについて】

1991年に始まり、30年以上継続実施している文化・芸術支援活動。1991年開始時は日本人アーティストのレジデンス(フランス・モンフランカンへの派遣)を実施。2003年からは原美術館とのパートナーシップのもと、日独国際交流を目的に日独アーティストを東京とベルリンへ相互に派遣。そして2022年より、芸術文化交流と次世代アーティストの育成を目的に新プログラムを始動。

### 【メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2022-2024 プログラム概要】

#### ①アーティスト・イン・レジデンス(2023年、2024年予定)

日本人アーティストおよびドイツ在住アーティスト各1名が互いの国で2-3ヶ月間アーティスト・イン・レジデンスを行い、その滞在経験をもとに新たな作品を制作。

#### ②次世代アーティストの育成(2023年、2024年)

アーティストは、レジデンスで得た経験を踏まえ、多摩美術大学大学院生向けにワークショップや特別レクチャーなどの授業を実施。学生の創作活動を刺激し、新たな活動につなげることで、次世代アーティストを育成。

#### ③ウェブサイト、SNSでの作品発表および情報発信(2022年より)

2022-2024プログラムを通じて制作された新たな作品や学生との交流の様子を、ウェブサイトで発信。またプログラムの30年の歴史と参加アーティストのインタビューを9月12日(月)よりMBJホームページにて発信予定。

ウェブサイト(URL) : MERCEDES-BENZ ART SCOPE (<https://mb-live.jp/category/special/artscope/>)

#### ④様々な発表場所の提供、他分野とのコラボレーション(2022年より)

多様化するアーティストの表現手法や発表方法に合わせ、ウェブサイトや多摩美術大学構内などの多岐にわたる場所にて作品の発表や展示を実施。また業種業界を問わず様々な企業や団体、機関および本プログラムに参加したアーティストとのコラボレーションを行い、アートがもたらす新たな視点を提供。

# MERCEDES-BENZ ART SCOPE

## 【多摩美術大学について】

・学校法人多摩美術大学

理事長: 青柳 正規

多摩美術大学 学長: 建畠 哲

所在地: 〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34

創 立: 1935年

大学概要: 創立以来「もの派」を牽引した関根伸夫、菅木志雄ら、またデザイン界でも三宅一生や深澤直人、佐藤可士和など世界を舞台に活躍する才能を数多く輩出。東京都世田谷区と八王子市に2つのキャンパスを持ち、絵画、彫刻、工芸、デザイン、建築、映像、演劇、舞踊、芸術学などアート、デザインから身体表現までを網羅する10学科と大学院を設置する美術系総合大学。

ウェブサイト(URL): [https://www.tamabi.ac.jp/index\\_j.htm](https://www.tamabi.ac.jp/index_j.htm)



Tama Art University



## 【久門 剛史氏プロフィール】

### ・久門 剛史(ひさかど つよし)

1981年、京都府生まれ。

2007年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。

人の営みを構成する根源的な感性や唯一性/永遠性に関心を寄せ、音や光、プログラミング、彫刻、絵画、大規模なインスタレーションなど多様な手法でコンセプチュアルな作品を発表している。作品を通じて鑑賞者の記憶や想像を共振させ、視覚や聴覚を研ぎ澄ますように促す。

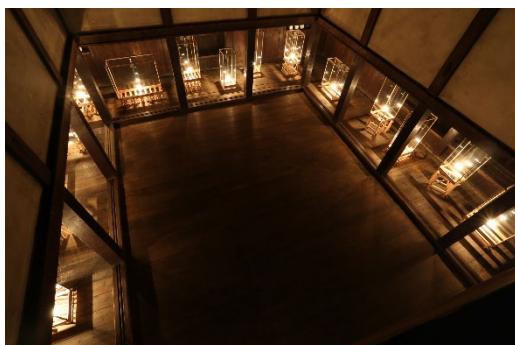
主な展覧会に「らせんの練習」豊田市美術館、愛知(2020年)、「58th Venice Biennale 2019」ヴェネチア、イタリア(2019年)、「MAM プロジェクト 025: 久門剛史 + アピチャップン・ウィーラセタクン」森美術館、東京(2018年)、「アジア回廊 現代美術展」二条城、京都芸術センター(2017年)、「あいちトリエンナーレ 2016」愛知県各地(2016年)など。チェルフィッチュの演劇作品「部屋に流れる時間の旅」では舞台美術と音声を担当。

主な賞歴に、「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2018-2020」(2018年)、「VOCA 賞」(2016年)、「京都市芸術新人賞」(2016年)、「日産アートアワード 2015 オーディエンス賞」(2015年)など。そのほか、文化庁「東アジア文化交流使」により中国へ派遣(2016年)。

ウェブサイト(URL): <http://tsuyoshihisakado.com>



Photo by Yuichiro Tamura



「風」2017年

素材: サウンド、木、ガラス、電球、アルミ、モーター、照明機材、他

展覧会 “アジア回廊現代美術展” 二条城での展示(京都)

サイズ可変

撮影: 来田猛



「Resume」2020年

ラワン材、ラワン合板、アクリル絵の具、自然光、航空機の音、虫の音、電車の音、サンルームから聞こえるあらゆる音、6000Hz 正弦波

サイズ可変

撮影: 木奥恵三

**【NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]について】**  
**・特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/ エイト]**

理事長:塩見 有子

所在地:〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-8 ツインビル代官山 B-403

創 立:2001 年

法人概要: 国籍を問わず、広く市民に開かれた芸術表現の場を提供し、国際協力活動を通じて、文化芸術の振興を図る事業を実施。市民に対して現代美術を中心とした文化芸術一般の普及、教育普及に関する事業、及び文化芸術を通じて福祉の増進を図る活動を行い、公益に寄与することを目的とする。